



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 イビデン株式会社  
 コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部副本部長 (氏名) 佐野 尚

TEL 0584 - 81 - 3111

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	229,777	5.9	27,365	107.8	28,896	94.1	21,399	161.5
2020年3月期第3四半期	216,905	1.1	13,166	86.3	14,887	61.1	8,182	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 35,037百万円 (269.1%) 2020年3月期第3四半期 9,492百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	153.15	
2020年3月期第3四半期	58.56	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	567,978	303,836	52.5	2,133.02
2020年3月期	518,619	273,934	51.7	1,920.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 298,022百万円 2020年3月期 268,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		20.00	35.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	8.1	35,500	80.3	37,000	73.2	24,000	111.8	171.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	140,860,557 株	2020年3月期	140,860,557 株
2021年3月期3Q	1,141,870 株	2020年3月期	1,124,913 株
2021年3月期3Q	139,736,054 株	2020年3月期3Q	139,735,171 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済は持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行の再拡大による経済活動への影響など依然として楽観視できない状況が続いております。国内経済も、足元では輸出や生産の一部に持ち直しの動きが見られるものの、不安定な世界経済の動向に伴う影響を受け、企業をとりまく経営環境は依然不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、テレワーク及び遠隔教育の普及拡大に伴い、パソコン市場が好調に推移したことに加え、データセンター向けサーバー市場を中心とした市場が概ね堅調に推移したこともあり、全体としては成長傾向で推移しました。

自動車業界の排気系部品市場は、第1四半期(4-6月期)における世界的な自動車販売台数の大幅減少に加えて、欧州乗用車市場におけるディーゼル車販売比率の低下が継続するなど、厳しい状況が継続しましたが、第2四半期(7-9月期)からの中国市場を中心とした回復基調が第3四半期(10-12月期)も継続しております。

このような情勢のもと、当社におきましては、2018年度より5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」を始動しており、今年度は折り返しの年となります。中期経営計画の達成に向け、人材育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力強化と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,297億77百万円と前年同期に比べ128億71百万円(5.9%)増加しました。営業利益は273億65百万円と前年同期に比べ141億99百万円(107.8%)増加しました。経常利益は288億96百万円と前年同期に比べ140億8百万円(94.1%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に关しましては213億99百万円と前年同期に比べて132億17百万円(161.5%)増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### 電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン向けパッケージ基板の需要が好調に推移したことに加え、大垣中央事業場にて建設を進めている最先端ICパッケージ基板製造設備(第1期投資)が計画通りに量産を開始した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、モジュール基板の売上は堅調に推移しましたが、中国向けスマートフォンの売上が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は1,193億83百万円となり、前年同期に比べ21.9%増加しました。同事業の営業利益は、PKG事業における売上増加による効果などにより、214億61百万円となり、前年同期に比べ115.6%増加しました。

#### セラミック事業

自動車排気系部品であるディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、高機能製品の生産性改善に加え、排ガス規制強化に伴い需要が拡大している大型車両向け製品の拡販に努めた結果、売上高は前年並みとなりましたが、営業利益は前年同期に比べ増加しました。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、第2四半期以降の中国市場を中心とした自動車市場の回復を受け、売上・営業利益ともに堅調に推移しております。今後、自動車市場の成長の中心となる中国市場でのシェア拡大に向け、計画通り新工場の立上げを進めてまいります。

NOx浄化用触媒担体(SCR)は、主に発電所や工場で使用される定置式の脱硝触媒の販売がおおむね堅調に推移したことにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。

特殊炭素製品(FGM)は、COVID-19の影響による車輻・航空部門の減速などにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は622億23百万円となり、前年同期に比べ7.6%減少しました。同事業の営業利益は24億88百万円(前年同期は4百万円の営業利益)となりました。

#### その他事業

建設部門におきましては、COVID-19の流行拡大に伴い、一部民間工事の延期がありましたが、発電プラント事業の受注が堅調に推移し、前年並みの売上高となりました。

建材部門・その他事業におきましては、COVID-19によって抗ウイルスへの関心が高まり、抗ウイルスメラミン化粧板・関連商材は増加しましたが、外出自粛の影響を受け、石油製品等の販売が減少し、全体として前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、その他事業の売上高は481億70百万円となり、前年同期に比べ6.7%減少しました。同事業の営業利益は、37億86百万円となり、前年同期に比べ11.3%増加しました。

#### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想については、2020年4月27日に公表しました、通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(2021年2月4日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	175,151	133,856
受取手形及び売掛金	69,013	84,112
商品及び製品	12,416	13,769
仕掛品	13,248	20,171
原材料及び貯蔵品	19,615	23,163
その他	10,934	12,723
貸倒引当金	△136	△150
流動資産合計	300,244	287,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,249	73,293
機械装置及び運搬具（純額）	43,322	62,452
土地	19,800	19,879
リース資産（純額）	7	229
建設仮勘定	48,731	50,666
その他（純額）	5,403	5,709
有形固定資産合計	173,514	212,231
無形固定資産	4,486	5,016
投資その他の資産		
投資有価証券	34,461	58,516
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	4,463	3,326
その他	1,684	1,485
貸倒引当金	△244	△254
投資その他の資産合計	40,374	63,082
固定資産合計	218,374	280,331
資産合計	518,619	567,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,555	49,825
短期借入金	30,030	20,167
1年内償還予定の社債	-	15,000
未払金	18,188	24,029
未払法人税等	3,016	2,685
賞与引当金	3,906	1,999
役員賞与引当金	132	-
関係会社整理損失引当金	763	285
設備関係支払手形	7,721	13,420
その他	11,422	13,724
流動負債合計	120,736	141,137
固定負債		
社債	50,000	35,000
長期借入金	70,000	80,035
リース債務	38	168
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	827	919
株式報酬引当金	250	306
繰延税金負債	1,644	5,286
その他	1,118	1,218
固定負債合計	123,948	123,003
負債合計	244,684	264,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,433
利益剰余金	128,578	145,081
自己株式	△2,575	△2,684
株主資本合計	254,734	270,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,232	21,856
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	4,191	5,022
その他の包括利益累計額合計	13,584	27,039
非支配株主持分	5,615	5,814
純資産合計	273,934	303,836
負債純資産合計	518,619	567,978

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	216,905	229,777
売上原価	167,562	167,578
売上総利益	49,343	62,198
販売費及び一般管理費	36,176	34,833
営業利益	13,166	27,365
営業外収益		
受取利息	208	101
受取配当金	1,031	1,088
為替差益	616	134
その他	449	673
営業外収益合計	2,306	1,998
営業外費用		
支払利息	123	191
社債発行費	146	-
持分法による投資損失	0	1
その他	315	275
営業外費用合計	585	467
経常利益	14,887	28,896
特別利益		
固定資産売却益	130	67
投資有価証券売却益	0	44
その他	17	1
特別利益合計	147	113
特別損失		
固定資産除却損	1,715	1,585
減損損失	-	182
投資有価証券売却損	45	-
投資有価証券評価損	-	35
関係会社整理損	459	-
割増退職金	686	-
支払補償費	-	996
災害による損失	-	344
その他	67	132
特別損失合計	2,974	3,276
税金等調整前四半期純利益	12,061	25,733
法人税等	3,741	4,196
四半期純利益	8,319	21,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	136	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,182	21,399



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	8,319	21,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,353	12,675
為替換算調整勘定	△3,181	825
その他の包括利益合計	1,172	13,500
四半期包括利益	9,492	35,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,310	34,855
非支配株主に係る四半期包括利益	181	181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症に伴う会計上見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	97,909	67,369	165,278	51,627	216,905	—	216,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	182	182	13,469	13,651	△13,651	—
計	97,910	67,551	165,461	65,096	230,557	△13,651	216,905
セグメント利益	9,953	4	9,958	3,402	13,360	△193	13,166

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△193百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セラミック」における子会社の解散に伴い、建物及び構築物、土地について、帳簿価額を回収可能額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において210百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	119,383	62,223	181,607	48,170	229,777	—	229,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	133	135	15,730	15,866	△15,866	—
計	119,386	62,356	181,743	63,900	245,644	△15,866	229,777
セグメント利益	21,461	2,488	23,950	3,786	27,737	△371	27,365

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△371百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、182百万円であります。

(のれんの重要な変動)

セラミックセグメントにおいて、LG Graphite Srlの株式取得による子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、448百万円であります。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「建設」として記載していた報告セグメントについては、量的な重要性が乏しくなったため、「その他」の区分に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。